

大学院医学薬学教育部 医科学専攻(修士課程)カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力		<p>基盤的能力 ●</p> <p>研究分野における基本的な情報収集、論理的思考、情報発信ができる。英語論文の基本的な読解と解説ができる。研究内容について他者と基本的な議論ができる。</p>		<p>専門的学識 ■</p> <p>専門分野の知識や論文内容について議論できる基本的な能力を身に付けている。専門分野の学会等において、情報収集、議論、情報発信ができる基本的な能力を身に付けている。</p>		<p>倫理観 ◆</p> <p>研究不正について説明でき、研究倫理に関する基本的な規範意識を身に付けている。</p>		<p>創造力 ★</p> <p>自身の研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる。</p>			
		<p>授業形態</p> <p>配当年次</p>		<p>研究指導</p>		<p>講義・演習・実験・実習</p>					
修士課程	2年次後期	<p>[10単位 必修]</p> <p>■ ◆ ★</p> <p>医科学特別研究</p>		<p>[6単位 必修]</p> <p>■ ★</p> <p>医科学演習</p>		<p>修士論文作成</p> <p>[7単位 必修]</p> <p>講義科目</p> <p>● ■</p> <p>・基礎臨床医科学概論</p> <p>・解剖生理病態学</p> <p>・社会医学</p> <p>● ■ ◆</p> <p>・生物医学倫理学</p>		<p>[7単位以上 選択]</p> <p>講義科目 ● ■</p> <p>・生体防御医学 ・分子ゲノム医科学</p> <p>・臨床行動科学 ・病態薬理学</p> <p>・病態検査医学概論 ・感覚・運動・脳病態学</p> <p>・東洋医学概論 ・高度先進医療実践学</p> <p>・臨床統計学の基礎 ・臨床研究の計画法</p> <p>・救急蘇生学特論 ・災害危機管理学特論</p>		<p>[1単位 自由]</p> <p>◆</p> <p>e-ラーニング</p> <p>研究倫理・研究方法論</p>	
	2年次前期										
	1年次後期										
	1年次前期										
	1年次前期										




大学院医学薬学教育部 看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)カリキュラムマップ




ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力	<p>基盤的能力 ●</p> <p>【博士前期(看護学)】 看護専門職・研究者として、知識基盤社会を多様に支える高度な知的能力を身に付けている。</p> <p>【博士後期(看護学)】 幅広く豊かな学識と各々の専門分野における高度な知識・研究能力を基盤に、看護の対象者を全人的な観点から理解し、教育・研究・社会貢献に取り組むことができる能力を身に付けている。</p>	<p>専門的学識 ■</p> <p>【博士前期(看護学)】 看護専門職・研究者として、高度な専門的知識・能力を身に付けている。</p> <p>【博士後期(看護学)】 専門的な知識・技術の必要性が強調されるなか、個人・家族・集団・コミュニティの尊厳を重視し、看護の対象者を全人的な観点から理解でき、その知見を看護本来の機能に立ち返り、実践現場で活用し、教育研究に還元する能力を身に付けている。</p>	<p>倫理観 ◆</p> <p>【博士前期(看護学)】 看護専門職・研究者として、高い倫理性・倫理観を身に付けている。</p> <p>【博士後期(看護学)】 看護の学識者として責任と役割を果たす上での基盤となる看護哲学を身に付けている。自らの看護および人生経験を通して看護観や世界観を深めていくと同時に、普遍性を有する看護哲学を追究し続けることができる能力を身に付けている。</p>	<p>創造力 ★</p> <p>【博士前期(看護学)】 看護専門職・研究者として、地域社会・文化規範の中で責任を果たしうる創造力を身に付けている。</p> <p>【博士後期(看護学)】 「実践の知を集積した学問」である看護学の、学問体系構築に寄与しうる研究を蓄積できる能力を身に付けている。「東西統合看護」の構築を目指し、「東洋の知」を取入れた医療(統合医療)の研究手法について開発できる能力を身に付けている。</p>	
授業形態 配当年次	研究指導		講義・演習・実験・実習		
博士後期課程 3年次後期 3年次前期 2年次後期 2年次前期 1年次後期 1年次前期	<p>博士學位申請論文作成</p> <p>[12単位 必修]</p> <p>特別研究 ・看護特別研究</p>		<p>[4単位 必修]</p> <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護科学演習 ・臨床・生体機能看護科学演習 ・地域ケアシステム看護科学演習 	<p>[4単位 必修]</p> <p>共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学理論 ・看護学研究方法論 	<p>[2単位以上 選択]</p> <p>特論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護科学特論 ・臨床・生体機能看護科学特論 ・地域ケアシステム看護科学特論
博士前期課程 2年次後期 2年次前期 1年次後期 1年次前期	<p>修士論文作成</p> <p>[8単位 必修]</p> <p>特別研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん看護実践特別研究 ・基礎看護学特別研究 ・成人看護学特別研究 ・母子看護学特別研究 ・老年看護学特別研究 ・精神看護学特別研究 ・地域看護学特別研究 		<p>研究者コース[4単位 必修]</p> <p>がん看護CNSコース[16単位 必修]</p> <p>母性看護CNSコース[18単位 必修]</p> <p>(研究者コース) 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学演習 ・成人看護学演習 ・母子看護学演習 ・老年看護学演習 ・精神看護学演習 ・地域看護学演習 <p>(がん看護CNSコース) 実践演習, 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん看護実践演習Ⅰ～Ⅲ ・がん看護学実習Ⅰ, Ⅱ <p>(母性看護CNSコース) 実践演習, 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周産期看護実践演習Ⅰ～Ⅳ ・周産期看護実習Ⅰ～Ⅲ 	<p>研究者コース[16単位以上 選択]A群, B群, C群及びD群から16単位以上(D群は所属する分野以外の授業科目)</p> <p>[2単位以上 選択]D群から2単位以上(D群は所属する分野の授業科目)</p> <p>がん看護CNSコース[A群から8単位以上 選択] [B群から6単位 必修] [成人看護学特論Ⅰ, がん看護学特論Ⅰ～Ⅲ 必修]</p> <p>母性看護CNSコース[A群から8単位以上 選択] [B群から6単位 必修] [母性看護学特論Ⅰ～Ⅲ 必修]</p> <p>(A群) 共通科目 ● ■ ◆ ★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護研究 ・看護倫理 ・コンサルテーション論 ・看護管理論 ・看護教育論 ・看護理論 ・看護政策論 <p>(B群) 共通科目 ● ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメント ・病態生理学 ・臨床薬理学 <p>(C群) 共通科目 ● ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床統計学の基礎 ・臨床研究の計画法 ・人間科学特論 ・東西統合看護演習 ・救急看護演習 <p>(D群) 特論 ● ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん看護学特論Ⅰ～Ⅲ ・基礎看護学特論Ⅰ, Ⅱ ・成人看護学特論Ⅰ, Ⅱ ・母子看護学特論Ⅰ～Ⅲ ・小児看護学特論Ⅰ, Ⅱ ・老年看護学特論Ⅰ, Ⅱ ・精神看護学特論Ⅰ, Ⅱ ・地域看護学特論Ⅰ～Ⅲ 	

大学院医学薬学教育部 薬科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)カリキュラム・マップ

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力	<p>基盤的能力 ●</p> <p>【博士前期(薬科学)】 研究遂行に必要な薬科学関連領域の幅広い学識と総合的な判断力を身に付けている。</p> <p>【博士後期(薬科学)】 研究遂行に必要な最先端創薬に関する幅広い学識と総合的な判断力を身に付けている。</p>	<p>専門的学識 ■</p> <p>【博士前期(薬科学)】 薬科学関連領域の発展に寄与する研究者・教育者・技術者として必要な専門知識、技術を身に付けている。</p> <p>【博士後期(薬科学)】 薬科学及び学際的領域で自立的に活躍する研究者・教育者・技術者として必要な専門知識、技術を身に付けている。</p>	<p>倫理観 ◆</p> <p>【博士前期(薬科学)】 研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。</p> <p>【博士後期(薬科学)】 研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。</p>	<p>創造力 ★</p> <p>【博士前期(薬科学)】 専門知識、技術を統合、応用して創造性の高い研究を遂行し、薬科学関連領域の諸課題を解決するための素養を身に付けており、研究成果やその価値を説明、議論できる能力を身に付けている。</p> <p>【博士後期(薬科学)】 薬科学関連領域における背景を理解した上で解決すべき課題を設定し、進展する自然科学諸分野の知識や技術を統合、応用した創造性の高い研究により新たな知見を見いだして課題を解決する能力を身に付けており、研究成果の学術的、社会的意義を説明、議論し、国際社会に発信できる能力を身に付けている。</p>
-----------------------	--	---	---	--

配当年次	授業形態	研究指導	講義・演習・実験・実習
------	------	------	-------------

博士後期課程	3年次後期	[14単位 必修]	博士學位申請論文作成 [2単位以上 選択]		
	3年次前期	 薬科学特別研究	[4単位 必修]	[1単位 自由]	 講義科目 ・分子生物薬科学特論 ・分子薬科学特論 ・先端東西医薬学特論 ・国際医薬学特論  実習科目 ・医薬品製剤開発学実習 ・医薬品薬効動態学実習 ・特別実習(インターンシップ)
	2年次後期		薬科学演習	e-ラーニング	
	2年次前期		研究倫理・研究方法論		
	1年次後期				
	1年次前期				

博士前期課程	2年次後期	[14単位 必修]	[6単位 必修]	修士論文作成 [10単位以上 選択]	
	2年次前期	 薬科学特別研究	 薬学演習	 講義科目 ・分子化学特論 ・分子設計学特論 ・物性構造科学特論 ・薬理学特論 ・分子生理学特論 ・薬物動態学特論 ・遺伝情報制御学特論 ・遺伝子応用分析学特論 ・分子疾患制御学特論 ・細胞情報学特論 ・生物分析学特論 ・応用天然物化学特論 ・和漢医薬学特論 ・創剤学特論 ・臨床統計学の基礎 ・臨床研究の計画法 ・プロフェSSIONナル特論	
	1年次後期				
	1年次前期				

大学院医学薬学教育部 生命・臨床医学専攻, 東西統合医学専攻(博士規程)カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力	<p>基盤的能力 ●</p> <p>研究分野における専門的な情報収集、課題発見と論理的思考、情報発信ができる。英語論文の専門的な読解と解説ができる。研究内容について他者と専門的な議論ができる</p>	<p>専門的学識 ■</p> <p>自立した研究者として専門分野における研究課題を把握し、その解決方法が提案できる。研究成果を専門分野の論文や学会で発表できる。</p>	<p>倫理観 ◆</p> <p>研究不正について説明でき、研究倫理に関する高い規範意識を身に付けている。</p>	<p>創造力 ★</p> <p>査読のある専門分野の学術雑誌に原著論文を発表できる。専門分野の学会で研究成果発表ができる。自分の研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる。</p>			
授業形態 配当年次	研究指導		講義・演習・実験・実習				
博士課程 4年次後期 4年次前期 3年次後期 3年次前期 2年次後期 2年次前期 1年次後期 1年次前期	<p>[所属する専攻において14単位 必修]</p> <p>■ ◆ ★</p> <p>・生命・臨床医学特別研究 ・東西統合医学特別研究</p>	<p>[所属する専攻において4単位 必修]</p> <p>■ ★</p> <p>・生命・臨床医学演習 ・東西統合医学演習</p>	<p>[4単位 必修]</p> <p>● ■</p> <p>・医学特論</p>	<p>博士学位申請論文作成 [4単位以上 選択] 所属の専攻の授業科目から4単位以上</p> <p>(生命・臨床医学専攻)</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器病学特論 ・運動機能制御学特論 ・平衡神経学特論 口腔腫瘍治療学特論 ・疼痛管理学特論 ・循環器外科特論 脳科学特論 ・消化器病学特論 ・肝臓病学特論 泌尿器・性器内分泌学特論 ・臨床分子病態学特論 ・腫瘍病理学特論 診断病理学特論 ・分子放射線腫瘍学特論 ・放射線画像診断特論 消化器腫瘍治療学特論 ・感染症学特論 ・微生物学特論 I 微生物学特論 II ・社会免疫学特論 ・環境医学特論 ・法医学特論 生活習慣病特論 ・臨床アレルギー学特論 ・心臓生理特論 感覚運動機能病態学特論 ・聴覚言語音声学特論 ・医用外科学特論 麻酔薬作用機序仮説特論 ・発生工学特論 ・尿路性器腫瘍学特論 放射線医学特論 ・腫瘍病因学特論 ・分子心臓病態学特論 ヒト免疫不全ウイルス感染症特論 ・理論疫学特論 ・脂質栄養学特論 法医遺伝子診断学特論 ・実験動物学特論 ・救急・災害医学特論 蘇生医学特論 ・臨床分子腫瘍学 ・免疫分子機能学特論 免疫細胞機能学特論 ・血液内科学特論 ・形成再建外科学・美容外科学特論 <p>(東西統合医学専攻)</p> <ul style="list-style-type: none"> 先端薬理学特論 ・和漢薬の作用機構特論 ・視覚生理病態特論 皮膚アレルギー学概論 ・生殖免疫学特論 ・胎児・周産期医学特論 I 胎児・周産期医学特論 II ・和漢治療学特論 臨床統計学の基礎 ・臨床研究の計画法 	<p>[2単位以上 選択]</p> <p>所属する専攻以外の専攻の授業科目</p>	<p>[2単位以上 選択]</p> <p>生命融合科学教育部, 理工学教育部の授業科目</p>	<p>[1単位 自由]</p> <p>◆</p> <p>e-ラーニング 研究倫理・研究方法論</p>

大学院医学薬学教育部 薬学専攻(博士課程)カリキュラム・マップ

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力

基盤的能力 ●

研究遂行に必要な臨床的課題、疾患に関する幅広い学識と総合的な判断力を身に付けている。

専門的学識 ■

臨床薬学を中心とした薬学関連領域で自立的に活躍する研究者・教育者・技術者として必要な専門知識・技術を身に付けている。

倫理観 ◆

研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。

創造力 ★

薬学関連領域における背景を理解した上で解決すべき課題を設定し、進展する自然科学諸分野の知識や技術を統合、応用した創造性の高い研究により新たな知見を見いだして課題を解決する能力を身に付けており、研究成果の学術的、社会的意義を説明、議論し、国際社会に発信できる能力を身に付けている。

配当年次

授業形態

研究指導

講義・演習・実験・実習

博士課程

4年次後期

4年次前期

3年次後期

3年次前期

2年次後期

2年次前期

1年次後期

1年次前期

[16単位 必修]

■ ◆ ★
薬学特別研究

博士学位申請論文作成

[8単位以上 選択]A群から4単位, B群又はC群から合わせて4単位

[6単位 必修]

■ ★
薬学演習

[1単位 自由]

◆
e-ラーニング

研究倫理・研究方法論



(A 群)講義科目

- ・薬物治療学特論 ・医療分子科学特論 ・臨床東西医薬学特論
- ・臨床薬学特論 ・国際医薬学特論



(A 群)実習科目

- ・医薬品製剤開発学実習 ・医薬品薬効動態学実習 ・特別実習(インターンシップ)



(B 群)北信がんプロ科目

- ・高度薬物がん治療学特論Ⅰ ・高度薬物がん治療学特論Ⅱ
- ・高度薬物がん治療学特論Ⅲ ・高度薬物がん治療学特論Ⅳ
- ・高度薬物がん治療学特論Ⅴ ・高度薬物がん治療学特論Ⅵ
- ・高度薬物がん治療学特論Ⅶ ・高度薬物がん医療学特論Ⅷ



(C 群)講義科目:博士前期課程 講義科目

- ・分子化学特論 ・分子設計学特論 ・物性構造科学特論 ・薬理学特論 ・分子生理学特論
- ・薬物動態学特論 ・遺伝情報制御学特論 ・遺伝子応用分析学特論
- ・分子疾患制御学特論 ・細胞情報学特論 ・生物分析学特論 ・応用天然物化学特論
- ・和漢医薬学特論 ・創剤学特論 ・臨床統計学の基礎 ・臨床研究の計画法
- ・プロフェSSIONAL特論